

第 4 回 材料研究会／九州・西日本支部 合同研究会のご案内

1987 年に液体窒素沸点温度を越える T_c を持つ初めての超電導物質が発見されて以来の長い研究開発の成果が結実し、昨年度から長尺の Y 系超電導線材（RE 系も含む）が市販されようになりました。現時点の Y 系超電導線材にはまだまだ多くの改善点が残されていますが、市販化されたことによって応用機器の研究は大きく進むことが期待されます。

そこで今回、Y 系超電導線材の構造、結晶配向化原理、製造プロセスなどの基本から最新の研究開発状況、そして長所・短所、今後の開発方向などについて、講師の先生方に分かりやすく包括的に講演していただく機会を設けました。Y 系超電導線材の研究開発に携わる方から Y 系超電導線材を使う方まで、多数のご出席をお待ちしております。

テーマ：Y 系超電導線材の現状と今後の開発トレンド

日 時：2010 年 11 月 30 日（火） 14：30～18：00

場 所：〒890-0065 鹿児島市郡元 1－2 1－4 0 鹿児島大学産学官連携推進機構 1F セミナー室
<http://www.rdc.kagoshima-u.ac.jp/>

交通案内：下記の鹿児島大学産学官連携推進機構 HP

<http://www.rdc.kagoshima-u.ac.jp/access.html>

もしくは下記の鹿児島大学工学部の HP をご覧ください。

<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/>

参加費（資料代）：2,000 円（どなたでも自由に参加できます）

プログラム

開会の挨拶

1. 高特性 IBAD/PLD 法線材の量産化と今後の展望

前田敏彦（材料研究会委員長）

14:30～14:35

2. 機器応用へ向けたこれからの R&D－その課題と問題点－

飯島康裕（フジクラ）

14:35～15:15

山田穰（SRL）

15:15～15:55

休 憩

3. Y 系線材用 Ni めっき Cu/SUS テープの開発

窪田秀一（田中貴金属工業）

16:10～16:50

4. Cu-RABiTS 線材の短尺性能と長尺化への展望

土井俊哉（鹿児島大）

16:50～17:20

5. RE 系線材の J_c はどこまで高くできるか

吉田隆（名大）

17:20～18:00

閉 会

オーガナイザー：松本要（九工大）、原田直幸（山口大）

問い合わせ先：九州工業大学大学院工学研究院 松本要
 山口大学大学院理工学研究科 原田直幸

TEL：093-884-3366 matsu@post.matsc.kyutech.ac.jp
 TEL：0836-85-9476 naoyuki@yamaguchi-u.ac.jp